

Kitakyushu Sustainability Newsletter!

September 8th, 2025

Vol.3

北九州市は日本一のサステナブルシティで、利他と再生のまちです。このニュースレターでは、北九州市のサステナビリティに関するニュースをお届けします！

希望の光、北九州市 — ラストベルト化を回避

1901年に日本初の官営製鉄所（現：日本製鉄）が操業開始以来、関連産業の集積が進み、日本の四大工業地帯の一角として、産業都市として栄えたが、1980年から人口は減少傾向に。しかし、「人口」を最重要課題と捉えた施策が、今、北九州市で実を結び始めている。

編集者の一言

武内和久市長は
「ポジティブモンスター」？！

「リーダーとは、市民に希望を配る存在である」と定義し、自らを「ポジティブモンスター」と表現。困難やリスクに臆せず、前向きに突き進む姿勢を示すことが市長の務めであるとリーダーシップを発揮し、市全体を牽引しています！

Editor Ken

社会人口、60年ぶりのプラス転換

2024年、転入者数が転出者を上回り、社会人口はプラス「492人」に！
北九州市の産業振興が効果を発揮。

企業誘致実績589社、投資額 1 兆超

直近 2 年間の実績は、93社。
（計画ベースで投資額3,886億円。
2年連続で過去最高を更新）
デジタル産業やものづくり産業を中心に
企業を呼び込み、まち全体の空気を変え、
人が集まることを重視。

理系人材 毎年3,000人を輩出

豊富な水や電力、交通インフラの良さに加えて、
理工系大学が多く、理系人材を3,000人、
文系を含めると約9,000人を輩出。

武内和久市長のリーダーシップ

「空気を変える」ことの重要性。北九州に対する
マイナスイメージを払拭し、市外・市内の人々が
「北九州に行きたい、住みたい」と感じられるよう、
積極的な施策を展開。失敗を恐れず挑戦し続
ける姿勢を示すことが、市民に希望を与えるリー
ダー像であると主張。